

 こんにちは
とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成19年8月10日
住所／〒286-0292
千葉県富里市七栄652-1
TEL.0476-93-1111
FAX.0476-91-3595

第155号



日本一！ とみさとスイカとロードレース

6 平成19年
月定例会



新議員決まる……………	2
議会の構成が変わりました……………	4
5月臨時会の議案と議決結果……………	5
6月定例会の議案と議決結果……………	5
一般質問……………	6

議員の抱負

市議会議員選挙が、4月22日に執行され、新たな20人の議員が選ばれました。
 ◎掲載順序は議席番号順です。(各ページ右段上から左に配列)
 ◎名前の下の() 書きは、会派又は所属政党名

大川原 きみ子 (公明クラブ)



「一人の声に誠実に」、
 「大衆と共に」の精神で
 地域に根差した富里のお
 母さんとして、一生懸命
 働いてまいります。

布川 好夫 (公明クラブ)



新しい時代を開く、市
 民の皆様と対話を重ね、
 「豊かさ実感。住みよい
 安心・安全のまちづくり」
 に、全力で取り組んでま
 いります。

塩田 和夫 (無会派)



市民の皆様の視点で市
 政を見つめて、教育・福
 祉の充実、生活環境の整
 備を進め、安心して暮ら
 せるまちづくりを目指し
 ます。

中間 幸一 (無会派)



三度目の挑戦で初当
 選、私の選挙公約「国際
 空港都市づくり」を目指
 し、空港圏合併問題、住
 民の諸問題に取り組んで
 まいります。

高橋 保夫 (新政会)



選挙公約でもある総合
 病院開院に向け各議員さ
 んたちと協力し、あらゆ
 る障害を排除し頑張つて
 実現させてまいります。

秋本 真利 (新政会)



市民の皆様から負託を
 受けた議員として、常に
 市民の側に立ち自己研鑽
 と行動力で市の発展に資
 するよう責務を果たして
 まいります。

原 清一 (市民クラブ)



諸先輩方が実現されて
 きた発展と、守られてき
 た富里らしさを大切に受
 け継いで、すばらしいふ
 るさとづくりに貢献でき
 ればと。

高橋 益枝 (市民クラブ)



富里の環境を守り、教
 育を考え、福祉の充実を
 目指し、市民の皆様との
 「かけ橋」として、二期
 目も頑張ります。

猪狩 一郎 (市民クラブ)



二市四町の合併が実現
 されるよう努力していき
 ます。さらに、高齢化社
 会に対応し、地域の皆様
 と連携を深めてまいりま
 す。

柏崎 のり子 (日本共産党)



6月の住民税増税は暮
 らしを直撃しています。
 政治に「福祉の心」を「住
 民こそ主人公」の視点で
 一生懸命取り組んでまい
 ります。

新議員決まる

中野 信 二 (青と緑の会)



「議員は、住民全体の代表者・奉仕者である」との憲法の定めを真摯に自覚するとともに、空港圏合併等の公約実現を目指します。

立花 廣 介 (青と緑の会)



私は旧満州で戦争の悲惨、恐怖を体験しました。平和への願いは私の生きる原点です。誰もが安心して暮らせる富里市を目指します。

窪田 優 (新政会)



地方分権時代、これからは、地方自治体の知恵と工夫が求められる時代でもあります。政策の実現を目指して働きます。

櫻井 優 好 (新政会)



市民の創意が反映される独自性のあるまちづくりを進めていくためにも、議員として精一杯頑張ります。

杉山 治 男 (新政会)



知行合一の信念の基、「知は是行の主意」皆様のご意見、ご要望をしっかりと受けとめ議会活動を行ってまいります。

押尾 隆 (市民クラブ)



「みんなに誇れるふるさとを」これをモットーに各地域のバランスのとれた活性化と、市財政力向上のため施策を提案していきます。

栗原 恒 治 (市民クラブ)



何事にも是々非々をもって対応し、税金を大切に、無駄使いのないよう、監視役となれることを心掛け、一日一日を頑張ります。

佐藤 繁 夫 (市民クラブ)



生活環境の整備、教育・福祉の充実、安心安全なまちづくりに市民の皆様への負託にこたえ、議会活動に取り組めます。

鈴木 英 吉 (新政会)



多くの市民の皆様が、市町村合併に関心を持たれています。私は議員として、この問題を市民とともに真剣に取り組んでゆきます。

江原 利 勝 (公明クラブ)



「地域の声をよく聞く、耳を傾ける」が政治信条。まじめに働く人が報われる社会を目指し、全力で取り組んでまいります。

議会の構成が変わりました

ごあいさつ



議長 江原利勝

このたび富里市議会選挙後の初議会において、市議会議員の皆様のご推挙を賜り、図らずも富里市第二四代議長を拝命することとなりました。

もとより浅学非才の私ではありますが、議長という要職を務めさせていただきまことは、まことに光栄であると同時に責任の重さを痛感しております。事に当たっては、一党一派にとらわれずに公正公平な議会運営に全力で取り組んでまいりる所存でございます。市民の皆様福祉向上に誠心誠意の努力をいたす覚悟でございます。厳しい財政状況や社会環

境の変化、そして地方分権の推進など、地方自治体ではさまざまな改革が求められています。地域住民の代表である地方議員の役割もこれまで以上に重要であり、住民の信託にこたえる地域社会を構築していくかを問われる状況にあります。

今後とも、議員を初め、当局、市民の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。さつとさせていただきます。



副議長 鈴木英吉

このたびの富里市議会議員選挙後の5月16日の初議会において、議員の皆様方のご推挙を賜りまして、副議長のと任に就任させていただきました。これにより、副議長としての責任の重さを痛感しております。事に当たっては、一党一派にとらわれずに公正公平な議会運営に全力で取り組んでまいりる所存でございます。市民の皆様福祉向上に誠心誠意の努力をいたす覚悟でございます。厳しい財政状況や社会環

今日、国を初めとして各行政はどこも財政難に苦しんでおります。我が富里市も例外ではなく、今後の行政運営に期待されることとあります。本市が市制をしいて早くも五年になり、市の方向も変わり、以前からある基幹産業である農業に加えて、第一・第二工業団地地域、七栄新木戸周辺の商業地域と市の形体も変わってきています。その中でこれらをどのように共榮させていくのかも大きな課題です。それと多くの市民の皆様が関心を持っている空港圏の合併問題も真剣に考えて解決していかなければならない大きな課題です。これからのことを市民と共に考え、執行部とも提案をしながら、富里の将来の発展のために全力投球で議会運営をしていきますので、市民の皆様方のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

各委員会の構成

議会運営委員会

委員長 杉山治男
副委員長 押尾 隆
委員 布川好夫 中野信二
秋本真利 栗原恒治

総務常任委員会

委員長 押尾 隆
副委員長 櫻井優好



(後列左から) 柏崎のり子 杉山治男 原 清一
(前列左から) 櫻井優好 押尾 隆 江原利勝

経済環境建設常任委員会

委員長 秋本真利
副委員長 布川好夫



(後列左から) 中間幸一 猪狩一郎 栗原恒治 中野信二
(前列左から) 布川好夫 秋本真利 鈴木英吉

教育福祉常任委員会

委員長 佐藤繁夫
副委員長 立花廣介



(後列左から) 大川原きみ子 塩田和夫 高橋保夫 窪田 優
(前列左から) 立花廣介 佐藤繁夫 高橋益枝

議長 江原利勝

副議長 鈴木英吉

5月臨時会の議案と議決結果

市長提出議案

議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	多数承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて	全会承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	全会承認

議員提出議案

議案第1号	とみさと議会報編集特別委員会の設置について	全会可決
-------	-----------------------	------

議員特別表彰

長年にわたり市政の振興に努められました功績により、全国市議会議長会から佐藤繁夫議員が表彰され、6月22日の本会議場において表彰状が伝達されました。
在職20年以上として表彰 佐藤繁夫議員

消防委員を選出
秋本真利議員
原 清一議員
印旛衛生施設管理組合
議会議員選挙
秋本真利議員
千葉県後期高齢者医療
広域連合議会議員選挙
江原利勝議員

4月の統一地方選挙後初の臨時会が5月16日に開催されました。
議長・副議長の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行い、正・副委員長が決まりました。
また、市長から承認三件が提出され、議員から発議案件を提出し、それぞれ原案どおり承認、可決しました。

6月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

議案第1号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	多数同意
議案第1号	富里市公共下水道施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について	全会可決
議案第2号	富里市議会議員及び富里市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第3号	富里市交通安全対策会議条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第4号	富里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第5号	富里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第6号	平成19年度富里市一般会計補正予算（第1号）	全会可決

議員提出議案

議案第1号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決
議案第2号	富里市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査
議案第3号	富里市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査
議案第4号	「消えた年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書について	多数可決
議案第5号	空港対策特別委員会の設置について	多数可決
議案第6号	議会改革特別委員会の設置について	多数可決
議案第7号	合併問題特別委員会の設置について	多数可決

意見書を提出

- ◆「消えた年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書について
(提出先) 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣

6月定例会は、6月4日から始まり、6月22日まで19日間の会期で開かれました。
市長から議案六件、同意一件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意しました。
また、議員から発議案件七件を提出し、四件を原案どおり可決、一件を否決、二件を閉会中の継続審査としました。
一般質問は、一〇人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

空港対策特別委員会を設置

成田空港に関連する諸問題に対処し、これらについての対策を確立し、市民生活の向上と市政の発展に資することを目的に設置し、議会が廃止の議決をするまで、閉会中も諸問題について継続して対処します。

委員長 猪狩一郎
副委員長 杉山治男
委員 布川好夫 柏崎のり子
秋本真利 立花廣介

議会改革特別委員会を設置

行政施策の最終意思決定機関である議会の機能・役割の重要性を踏まえつつ、議会のあり方全般について改善・改革の具体的項目に関する調査研究をすることを目的に設置し、議会が廃止の議決をするまで、閉会中も諸問題について継続して対処します。

委員長 窪田 優
副委員長 押尾 隆
委員 外18名（全議員が委員）

合併問題特別委員会を設置

市町村合併に関する諸問題を調査及び審査することを目的に設置し、議会が廃止の議決をするまで、閉会中も諸問題について継続して対処します。

委員長 鈴木英吉
副委員長 高橋保夫
委員 大川原きみ子 中野信二
中間幸一 佐藤繁夫
原 清一

一般質問

6月定例会では、6月12日から14日までの三日間にわたり一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。
詳細については、市立図書館にて会議録（8月下旬発行予定）の閲覧、または、富里市議会ホームページ（8月下旬掲載予定）でご覧ください。

※本文は質問者自身の原稿によるものです。

一般質問通告項目

佐藤繁夫

- (1) 安全な通学路確保について
- (2) 子供の育成支援について
- (3) 調整池及び水路の管理について

秋本真利

- (1) 基盤（制度）整備について
- (2) 市長の政治姿勢について
- (3) 監査について
- (4) 学校管理規則について

大川原きみ子

- (1) 次世代育成支援対策について
- (2) 防災対策について
- (3) 循環型社会を目指して

中野信二

- (1) 富里市耐震改修促進計画の策定について
- (2) 乳幼児医療費助成に関する制度設計について
- (3) 空港圏合併の実現を公約に

柏崎のり子

- (1) 乳幼児世帯への正規国保証発行を
- (2) 多重債務者の相談窓口設置について
- (3) 住宅などの耐震診断・耐震改修の「促進計画」と助成について
- (4) 「認定こども園」について

高橋益枝

- (1) 中沢第二臨空工業団地の道路改善について
- (2) 富里市指定ごみ袋について
- (3) スイカ果実汚斑細菌病菌について

窪田 優

- (1) 市長一期四年の評価を問う
- (2) 富里市の教育政策について

布川好夫

- (1) 住宅の耐震診断・耐震改修の促進について
- (2) 「頑張る地方応援プログラム（案）」に関する施策について
- (3) 重点実施プランについて

立花廣介

- (1) 学校施設の耐震化について
- (2) 新ごみ施設の計画について
- (3) 防犯灯の整備について

高橋保夫

- (1) 学校給食について
- (2) 保育料の未納について
- (3) 合併問題について

問 安全な通学路の確保は

答 環境の整備が図れるよう努めます

佐藤繁夫

問 学校からの帰りが遅くなる子供の安全を確保する街路灯の整備はどう取り組むのか。

答 街路灯の役割は、犯罪を防ぐのに、大変重要なものと認識しており、未整備地区については、申請を受けたところから、整備が図れるよう努めます。

問 歩道整備が進まない。国や県にどのように働きかけてきたのか、また、富里高校は開校して20年以上経過している。約束した通学路の整備はどうなっているのか。

答 県道成田両国線や三里塚八街線の一部で歩道整備が行われています。他の国県道についても歩行者の安全確保について要望しております。

また、市道一〇〇六号線の整備については、現在、七栄人形台からクリーンセンター方面へ整備を進めております。
問 防犯対策に効果が期待される青パトはどのように活用し

てますか。

また、木更津市では防犯指導員が活用して防犯活動を行っています。富里市はどう活用しますか。

答 現在は総務課と教育委員会が、連携してパトロールを行っています。富里市は総務課と教育委員会が、防犯指導員の日吉台支部が、地域パトロール実施のため準備中です。



通学路には防犯灯を

問 通学通園路の整備、予算の配慮を要望

答 十分とは言えないが、考慮しています

秋本真利



園児も利用する歩道の安全を（富里保育園前 国道296号線）

問 富里保育園前の通園路は、国道に接しており非常に危険。せめて、歩道の安全対策はできませんか。

答 整備事務所と意見交換をし、ご指摘の点は申し添えていきたい。

問 日吉台（ダイエー跡地）への駐輪場の設置が必要。放置自転車対

策に資する条例を制定するべき。

答 ご指摘どおり条例を制定したい。

問 一般競争入札の割合は高めるか。

答 現在、制度の見直しを検討中。

問 その際、地元企業の受注機会は考慮してもらえますか。

答 地元企業の繁栄は良いことだ。

問 品確法を導入し、地元企業の受注機会の確保、障害者、女性などの雇用確保に資する条例の制定を。

答 勉強中。今後の検討課題とする。

『市長の政治姿勢について』

問 自治基本条例を公約に掲げて。

答 公約にしますが、住民投票は入れません。理由は、最終判断は議員がするものとの考えからです。

問 新教育長に公約を説明したのか。

答 必要ない。すべて任せてます。

問 子育て支援や寡婦政策の公約を。

答 子育てについては入れます。

『学校管理規則の改正について』

問 改正して学校や校長の裁量を上げていくことは考えていますか。

答 効果的な学校運営が行われるよう見直しを不断に行いたい。

問 次世代育成支援対策について

答 医療費助成8月より未就学児まで拡大

大川原きみ子

問 平成19年度施政方針・乳幼児から高齢者まで生涯にわたる保健サービスについて、具体的な説明を。

答 乳幼児期の各種健康相談。

壮年期は生活習慣病予防健診とがん早期発見検診・指導を行います。

問 乳幼児医療費助成について。

答 8月より未就学児までに

医療費助成実施の方向です。

問 妊婦健診無料化の拡大について。

答 無料化拡充は、県下の動向を見て検討します。

問 マタニティマーク推進について。

答 妊娠産婦に理解ある地域環境づくりの一環として検討していきます。

『防災対策について』

問 災害発生箇所への対策・取組。

答 地域防災計画に基づき危険箇所調査、住民への啓発。急傾斜地の崩壊危険箇所は現地調査と土砂災害の啓発を住民に行います。



厚生労働省マタニティマーク

『循環型社会を目指して』

問 リサイクル・分別収集について。

答 資源回収運動を通じリサイクル意識の浸透を図っております。九種類の分別収集を行い、有害ごみは一七ヶ所で回収。ごみ処理量は横ばい状態が続いております。平成23年度実施の成田市との中間処理を念頭に、減量・再資源化率の更なる向上に向けて取り組んでいきます。

問 耐震改修工事の減税は受けられるか

答 当市では固定資産税のみ受けられます

中野信二

問 当市の耐震改修促進計画策定内容、時期はどうなっているか。

答 耐震診断及び耐震改修の実施に関する目標や促進を図るための施策に関する事項など、五項目が県から示されており、早期に策定します。現段階では策定期間を明確にはできません。

問 同計画策定と住宅に係る耐震促進税制との関係はどうか。

答 耐震改修に要した費用の一〇％相当額を控除する所得税減税は本計画を未策定の当市では受けられない。固定資産税は、本計画の策定は必要なく、平成27年までに耐震改修工事が完了した場合に二分の一減額の適用が受けられます。

問 所得税減税は平成20年末までに耐震改修を行った場合に対象となる。減税対象の住宅はどのくらいあるか。

答 所得税減税は、老朽住宅の密集地を対象としており、当市では五地区、住宅四、〇五〇棟と想定し



住宅密集地。耐震化を急ごう

ています。

問 耐震診断や耐震改修工事に対する国、県の補助金があるが、市の補助金制度がないと受けられない。今後、補助金制度を設ける考えはあるか。

答 促進計画策定の中で具体的な内容を詰めていきます。

問 乳幼児(資格証)世帯に正規国保証を

答 生活の困窮が確認されれば発行

柏崎のり子

問 高すぎて払いきれない国保税の医療費全額負担を求める資格証交付は約六〇〇世帯数に上り、乳幼児世帯はその二・八％です。命と健康、少子化対策、子育て支援の観点から正規国保証の発行を。

答 できるだけ相談に応じ、法制度を遵守する中で判断しています。

問 厚生労働省通知では「乳幼児医療費助成受給世帯を資格証明書交付対象から除外することを検討すべきである」の指示があります。

市長は、通院対象年齢を「小学校就学前」までに決断され市民からも歓迎されています。だからこそこの通知を遵守し、地域の宝として支援することが求められます。

答 言われていることはよくわかる。正規証を渡す考えはあるが、内容を十分精査すべきと考えます。

問 若い世代は不安定な雇用形態の中で懸命に子育てしています。お母さんは育児に不安を持ち



みんなでたのしい子育て

ながら赤ちゃんは熱や病気をしながら抵抗力をつけ成長します。窓口での一〇割負担は経済的にも大変なことです。同じ小さな命です。誰もが安心して受診できる乳幼児医療制度は大変重要です。

答 相談する中で、生活の困窮が確認されれば、正規国保証を渡すようにしたい。

問 富里市指定ごみ袋について

答 要望は受けておりません

高橋益枝

問 高齢化が進む中で、お年寄りや病弱な方でもごみステーションまで運べる大きさ、重さになるような可燃ごみ、不燃ごみの袋の大きさの種類を増やせないでしょうか。

答 特段の要望などは受けておりません。

『中沢第二臨空工業団地の道路改善について』

問 工業団地の三ヶ所で、曜日を問わず夜中の12時前後から午前2時

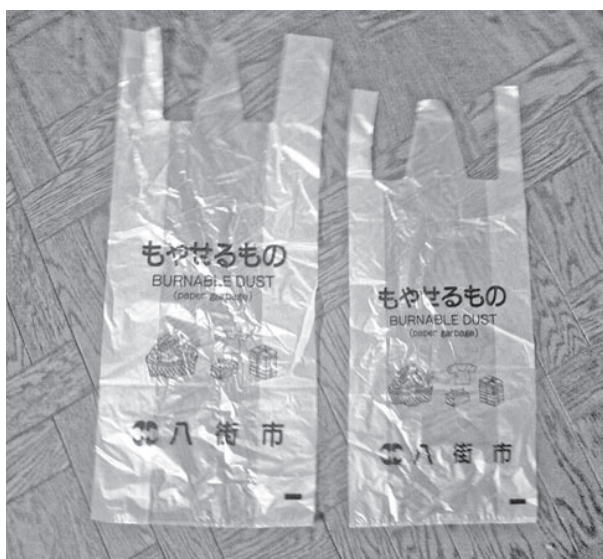
頃まで「ドリフト族」が爆音をたて続けている。住民の健康を守るための対策はどうなっていますか。

答 現在は、供用開始されている交差点であり、工業団地内での大型車の通行や一般の通過車両等の安全を確保することが前提であるため、効果的な対策については苦慮しております。今後、取り締まりやパトロールなど警察と協議してまいりたいと考えます。

『スイカ果実汚斑細菌病菌について』

問 国の特定重要病害に指定されている細菌病です。知らない農家の方もいます。今年3月に日本種苗協会から接木用台木植物も含めウリ科野菜全般への波及が心配されると発表がありました。対策は。

答 情報が入りましたら、各農家へ情報提供に努めます。



八街市の燃えるごみ袋大と小

問 合併第二ステージは四町と積極的

答 積極的なリーダーシップはとらない

窪田 優

問 前回の選挙公約に「合併は積極的に進めます。合併は行財政改革のチャンスととらえ、平成17年3月までに間に合うように進めてまいります。最終的には住民投票で決めます」と書かれています。当選後、「編入合併だから」とか「議会の意思を尊重する」に変わったのはなぜですか。

答 成田市長が出したのは、新市になったばかりの富里に対して一方的に編入を決めたから。住民投票はしなかったが、アンケートはしました。

問 「平成17年3月までに間に合わせる」も「最終的には住民投票で決める」も「編入」ということが公約無視の理由になるのか。

答 期限は合併特例債の期限。先に住民投票するのは不自然、アンケート結果は成田市との合併を望んでいる住民が多いことがわ



(資料：千葉県)

新たな二市四町の合併

かったものでこれからも合併は進めていくことに変わりはない。

問 編入拒否の成田市への文中、「今後も連絡を密にし」と記されているが話し合いましたか。

答 数回会った、文書でも申し込んであります。ただ、こちらの一方的なことでは成立しない。相手が「一緒にやろう」とならないと実現しない。

問 住宅の耐震診断、耐震改修の促進は

答 県が示す九〇%を目標として検討する

布川好夫

問 耐震改修促進計画の策定を義務付けられている都道府県は、今年（平成19年）3月末までに全都道府県で計画が策定されていますが、努力義務となっている市町村では約半数しか策定していません。

耐震改修促進計画の策定状況、補助制度の整備状況などの富里市の取組は。

答 耐震改修計画の策定に向けては県が示す九〇%を目標として検討してまいります。耐震改修等の実績については、公共施設は順次改修を図っているところで、民間建築物については把握していない。耐震診断士と耐震改修工事業者の現状については、社団法人千葉県建築設計事務所協会に協力をいただき、指導等お願いしているところです。所有者等の費用負担の軽減は、計画策定の中で検討していきます。

『頑張る地方応援プログラム』

問 魅力ある地方の創出に向けて、



地震災害に強い富里市を

地域活性化に資するプロジェクトをお聞きしたい。

答 地域経営改革・企業立地促進・少子化対策プロジェクトの三つで戦略的な運営を目指します。

『重点実施プランについて』

問 防犯対策・生活・幹線道路は。

答 防犯灯二〇基、市道整備は随時。

問 学校施設の耐震化、一日も早く

答 平成21年度の着工を目指します

立花廣介

問 市長の19年度施政方針には、学校施設の耐震化が述べられているが、一方、4月に配付された今後三年間の重点実施プランには一切載っていない。これではあまりに無責任ではないですか。

耐震化は、やるかやらないかの選択は許されません。国、県の財政支援は市が借金をして前倒しで実施したらどうなりますか。

答 県に支援制度はなく、国には「安全・安心な学校づくり交付金」があります。これを受けるには、交付要綱に基づき、市が事前に施設整備計画を文部科学大臣に提出し、採択されなければなりません。

この手続きを取らずに、市が単独で実施したものは、事後に交付金を受けることはできません。

問 重点プランには、整備計画すらもない。今までどう協議したか。前議会では、22年以降に着手、それまでは見通し

が立たないと言っていたと思うがどうですか。

答 診断結果が出た時点では既に実施プランはできていたので耐震化は入っています。しかし、勉強の現場が危険な状態ではおいておけないわけですから20年までに計画を立てて、21年度以降には順次着工するようにしたいと考えています。



住民の防災拠点でもある学校

問 学校給食費の未納状況について

答 保護者の意識低下で支払わない傾向

高橋保夫

問 学校給食費の未納状況について。過去五年間の滞納金額を示してください。

答 おおむね二、一九五万円くらいとなります。

問 給食費は、支払えないのか支払わないのですか。

答 全国的に意識の低下で支払わない傾向です。

問 未納分について時効は成立するのですか。

答 自治法により五年で時効です。

問 臨時に徴収員を増やす考えはありませんか。

答 現体制で徴収率を上げるよう頑張っています。

『二市四町の合併について』

問 相川市長さんは約四年前、成田市を核とした三〇万都市を目指すと言っておられました。これについて一生懸命頑張っておられたと思っておられるでしょうか。伺いたいします。

答 一生懸命頑張ってきたと思っております。ただし、諸々の事情で思うようにいかなかった。

問 市長選に再度立候補されるこのことですが、合併問題で本当に頑張っていけますか。

答 公約に取り入れております。一生懸命頑張っていきたいと思っております。



学校給食センター

新メンバーでがんばります

とみさと議会報編集特別委員から一言

委員長 窪田 優

議会報特別委員長の役割をいただきました。議会報は皆様に議会のことを知っていただく重要な役割であることを考え、委員の皆様と研究、改善に努め、よりよい紙面づくりに務めていきます。

副委員長 高橋益枝

諸先輩方からの伝統を引き継ぎ、市民の皆様様に議会を理解していただくためにも、四年間の経験を元に、五年目も更にがんばりたいと思います。副委員長としても励みます。

委員 大川原きみ子

読手から、発信する側になりました。富里市議会を読手側の目線でお知らせできるように、何を、どう記事にするか、つくり上げる努力をしてまいります。

委員 塩田和夫

新編集委員ですが、市民の皆様親しんでもらえるような、読みやすい議会報をお届けできるように、精一杯

頑張ります。

委員 高橋保夫

市民の皆様は議会の情報を正確に伝達するため、スタッフの皆様と頑張つてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

委員 原 清一

初めての議会活動であり、また、初めての編集委員でもあり

ますが、皆様に親しまれる議会報づくりに頑張つてまいります。

委員 立花廣介

住民から負託を受けた各議員が、住民の声を代弁してどんな主張を展開したか、また、議案質疑、討論は論議の根幹として掲載すべきだと思います。心とむいます。





夢よとんでけ！（富里中央公園にて）

議会を傍聴しませんか

9月定例会は

8月31日(金)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。

※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎1階）のテレビでもご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど

皆様のご意見をお待ちしております。

また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局

TEL.0476-93-1111 FAX.0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

「地球温暖化」、今や流行語にもなっていますが、「クールビズ」、「ウォームビズ」に象徴されているパフォーマンスだけでは許されない状況になりました。CO₂削減対策として、企業、業界団体はもちろん、個人も真剣に具体的に削減目標を掲げて取り組まなければなりません。

「京都議定書」は2005年に発効しましたが日本の「6%の削減」目標は困難で逆に増えている結果になっています。

個人ができることとして、「めざせ！一人一日1キログラムCO₂削減」運動に参加しましょう。

「自動車のアクセルをやさしく踏む」、「シャワーをまめに止める」等、地味でもささやかな貢献をしてみませんか。

今号から初当選の方も含めフレッシュなメンバーで「議会報」の編集をします。先輩方の編集を参考にしながら、更にわかりやすい議会報になるように話し合いながら研究してまいります。お気づきのことがありましたら、ご意見をお寄せください。

（委員長 窪田 優 記）

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／窪田 優 副委員長／高橋益枝 委員／大川原きみ子 塩田和夫 高橋保夫 原 清一 立花廣介